



作成日 2006年7月29日

作成者 一級建築士事務所

確認日 1900年1月0日

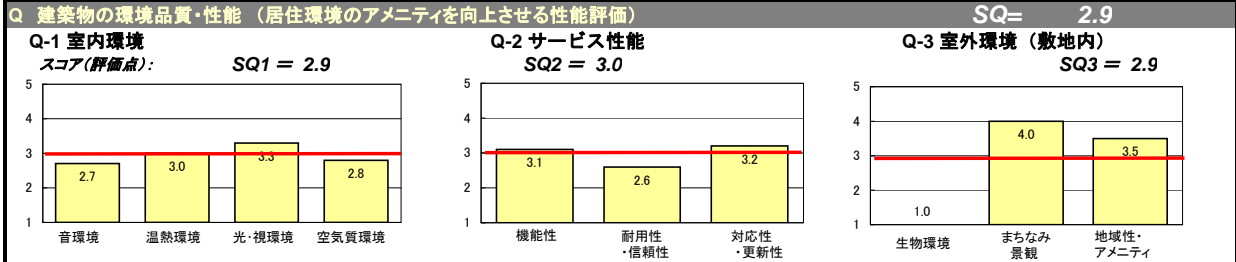
確認者 1900/10

## (1) 建物概要

建物名称	コンフォール御幸町御池フェルテ	敷地面積	618 m <sup>2</sup>	外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建物用途	集合住宅	建築面積	420 m <sup>2</sup>	
建設地	京都市中京区御幸町通り御池上	延床面積	4,307 m <sup>2</sup>	
気候区分	地域区分IV	階数	地上14F	
地域・地区	商業地域、防火地域	構造	RC造	
竣工年	2008年8月 予定	平均居住人員	115 人	
		年間使用時間	8,760 時間/年	

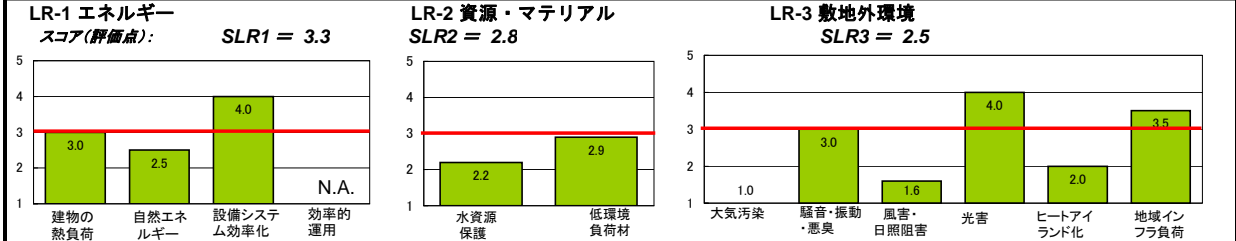
## (2-1) 環境性能評価結果 (バーチャート)

注1



## LR 建築物の環境負荷低減性 (環境負荷を低減させる性能評価)

SLR = 2.9

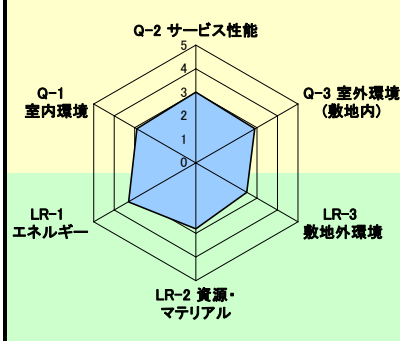


## (2-2) 環境性能評価結果 (レーダーチャート)

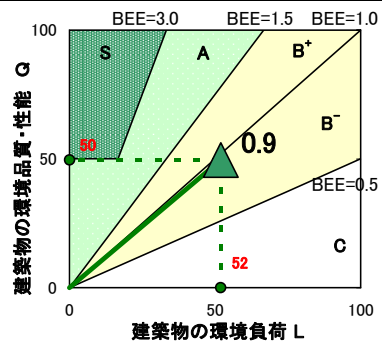
## (2-3) 環境性能効率

## BEE

注2



$$\begin{aligned}
 \text{BEE} &= \frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の環境負荷 } L} \\
 &= \frac{25 \times (\text{SQ} - 1)}{25 \times (5 - \text{SLR})} \\
 &= \frac{49.5}{51.9} = 0.9
 \end{aligned}$$



## (3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

注3

### (3-1) 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

<実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入>

	年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %	0	10	20	30	40	50 %
運用エネルギー消費量	MJ/年m <sup>2</sup>	MJ/人時	MJ/年m <sup>2</sup>							
運用CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>	kg-CO <sub>2</sub> /人時	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>							
水消費量	m <sup>3</sup> /年m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup> /人時	m <sup>3</sup> /年m <sup>2</sup>							
LCCO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>	kg-CO <sub>2</sub> /人時	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>							
LC廃棄物量	t/年m <sup>2</sup>	t/人時	t/年m <sup>2</sup>							
LC資源消費量	t/年m <sup>2</sup>	t/人時	t/年m <sup>2</sup>							

### (3-2) デザインプロセスの評価

設計段階	建設段階
有資格者による設計	環境管理計画

凡例  
備考  
Q: Quality L: Load LR: Load Reduction SQ: Score of Q category SLR: Score of LR category BEE: Building Environmental Efficiency  
注1: 当該対象区における標準的な計画の得点が3点、NAは評価対象外とした項目を示す。敷地選定に関わる評価は対象外。  
注2: Qは、環境品質・性能(Q)のスコアSQ(Q-1、Q-2、Q-3)のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値から算定。  
Lは、環境負荷低減性(LR)のスコアSLR(LR-1、LR-2、LR-3)のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値から算定。  
注3: (3)の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。